

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 緩やかに拡大基調が続くなか、弱含みの兆しがみられる

福岡県の景気は、生産活動は依然として高水準で推移しているほか、個人消費についても底堅く推移しているものの、鉱工業生産指数(総合)や百貨店・スーパー販売額が2ヵ月連続で低下しており、総じてみると緩やかに拡大基調が続くなか、弱含みの兆しがみられる状況にあります。

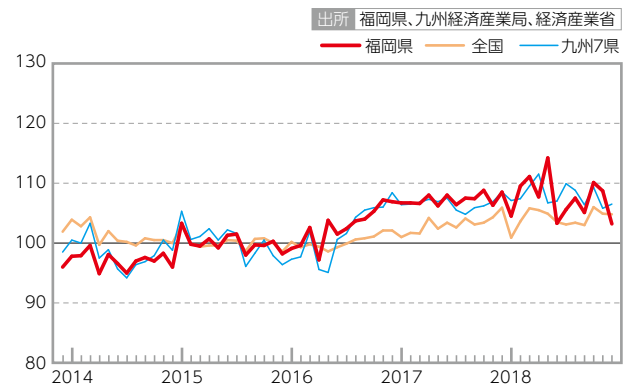
(吉武 直紀)

1.生産活動 | 高水準で推移している

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は103.1と前月比5.1%減少しました。

主要業種では、自動車生産の一服感から「輸送機械工業」が低下する等、全体としては、高水準で推移しているものの、総合指数は2ヵ月連続で前月を下回っています。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2015年=100)



2.個人消費 | 底堅く推移している

12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.4%減の約740億円となりました。

暖冬の影響で冬物衣料が低調であったこと等により、2ヵ月連続で前年同月に比べ下回りました。

また、新車登録台数も前年同月比3.3%減の13,293台となりましたが、コンビニエンスストア販売額は前年同月比3.2%増の約449億円になるなど、個人消費全体としては、底堅く推移しています。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■福岡県の新車登録台数(前年比)



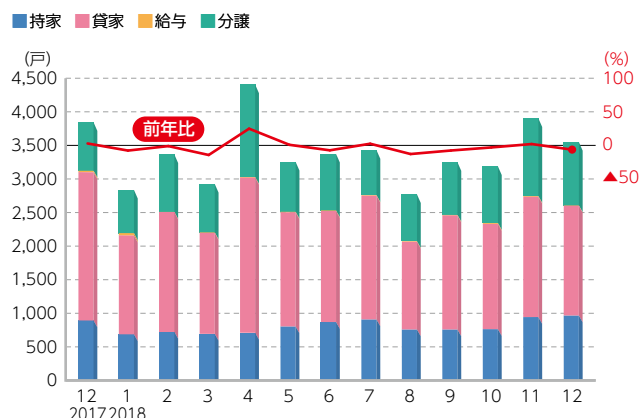
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比8.4%減の3,577戸となりました。

「持家」「分譲(マンション・戸建)とも」は前年を上回ったものの、「貸家」の大幅な減少を主因に全体でも前年を下回りました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



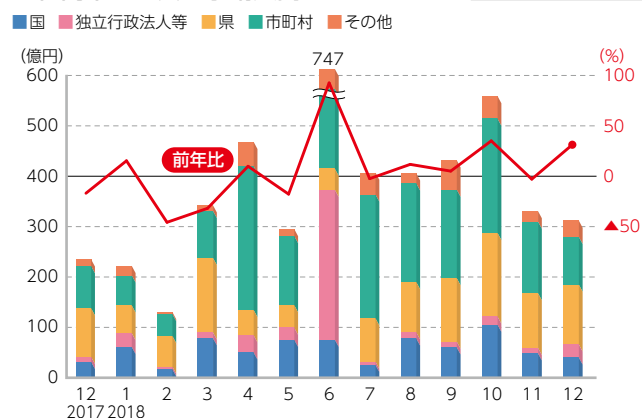
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比3.6%増の867件、請負額が同31.8%増の約314億円となりました。

発注者別では、橋梁工事の大型案件等により「独立行政法人等」「その他公共的団体」が前年を大きく上回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数は7ヵ月ぶりに前年を下回る

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比31.3%減の22件、負債総額は同88.4%減の約11億円となりました。

「建築工事業」、「人材派遣業」でそれぞれ約2億円の倒産が発生しましたが、倒産件数、負債総額ともに前年を下回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 緩やかに拡大している

熊本県の景気は、生産活動において一部減産の動きはあるものの、引き続き高水準で推移しているほか、個人消費についても底堅く推移しており、基調としては緩やかに拡大している状況にあります。

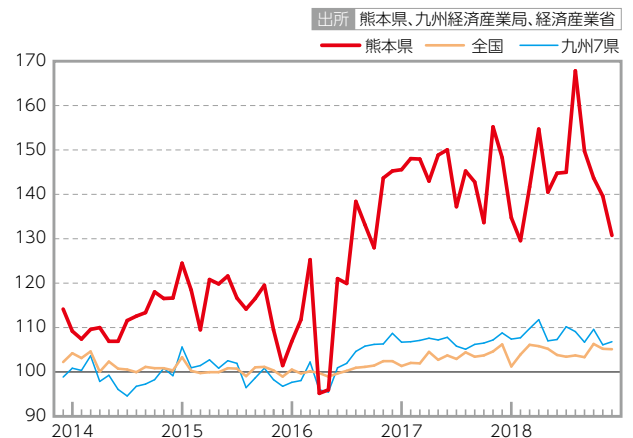
(吉武 直紀)

1.生産活動 | 高水準で推移している

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は130.5と前月比6.4%低下しました。

主要業種では、集積回路の生産が減少した「電子部品・デバイス工業」等は低下し、総合指数も前月比で4ヵ月連続の低下となりましたが、「電気機械工業」「化学工業」等が上昇する等、指数自体は引き続き高水準で推移しています。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値、2010年=100、全国・九州は2015年=100)



2.個人消費 | 底堅く推移している

12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.5%減の約183億円となりました。

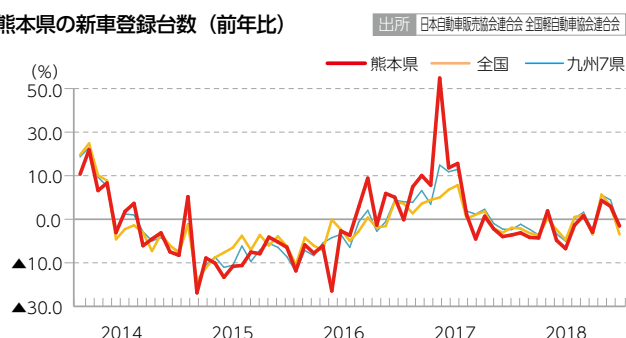
商品別では、主力の「衣料品」が前年同月比6.2%減となりました。

また、新車登録台数も前年同月比0.1%減の4,740台となりましたが、コンビニエンスストア販売額は前年同月比2.1%増の約147億円となるなど、個人消費全体としては底堅く推移しています。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■熊本県の新車登録台数 (前年比)



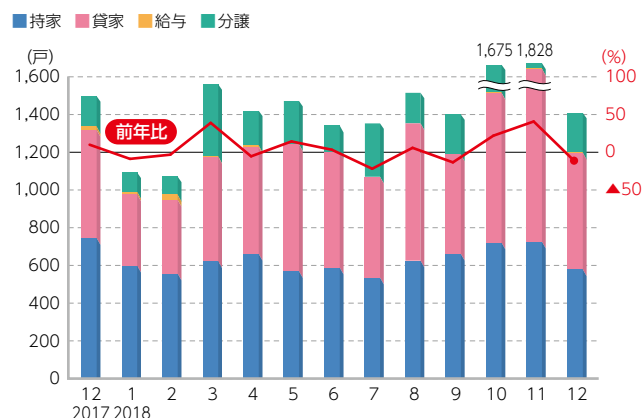
3.住宅建設 | 3ヵ月ぶりに前年を下回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比7.4%減の1,401戸となりました。

「貸家」「分譲(マンション・戸建とも)」は前年を上回ったものの、「持家」が前年を大きく下回り、全体でも3ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



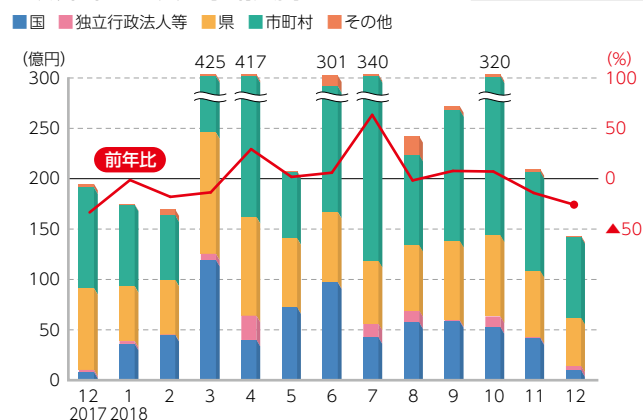
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を下回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比9.4%減の537件、請負額が同26.3%減の約145億円となりました。

発注者別では、「国」や「独立行政法人等」が前年を上回ったものの、「都道府県」や「市町村」等が前年を下回り、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



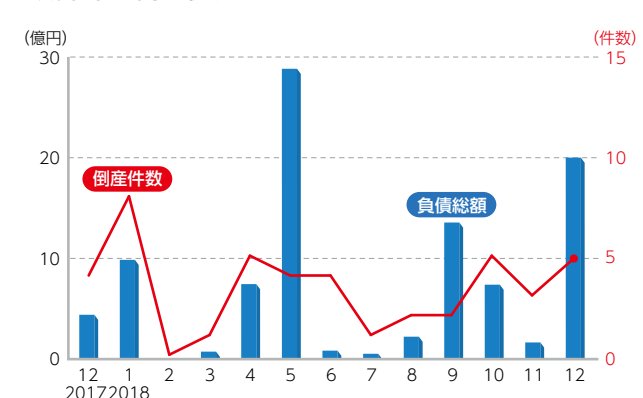
5.企業倒産 | 5ヵ月連続で前年を上回る

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比で1件増加し5件、負債総額は同358.3%増の約20億円となりました。

「飲食店」で約16億円の大型倒産が発生したこと等を背景に、倒産件数、負債総額ともに前年を上回りました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 弱含みの兆しがみられる

長崎県の景気は、個人消費は底堅く推移しているものの、生産活動については総合指数が2ヵ月連続で低下し弱含みの兆しがみられる等、総じてみると弱含みの兆しがみられる状況にあります。

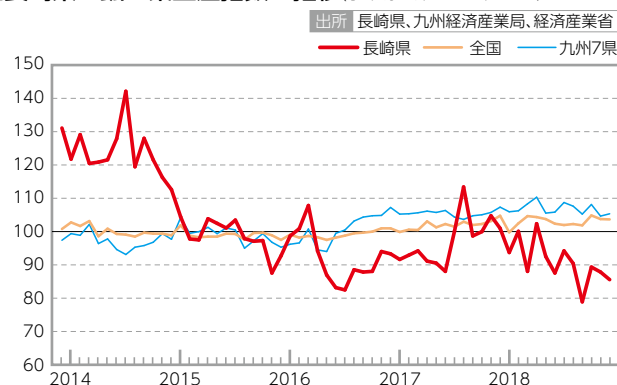
(吉武 直紀)

1.生産活動 | 弱含みの兆しがみられる

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は2.6%低下し、86.5となりました(前月比2ヵ月連続の低下)。

主要業種では、交流発電機の生産が増加した「電気機械工業」等が上昇しましたが、蒸気タービンの部品・付属品の生産が減少した「はん用・生産用機械工業」等が低下するなど、生産全体としては弱含みの兆しがみられます。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2015年=100)



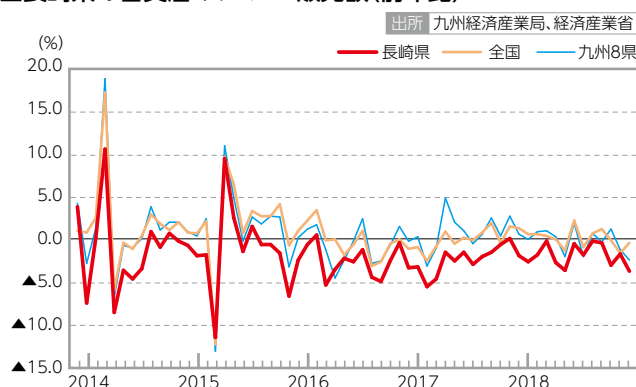
2.個人消費 | 一部弱さがみられるものの、底堅く推移している

12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.8%減の約112億円となりました。

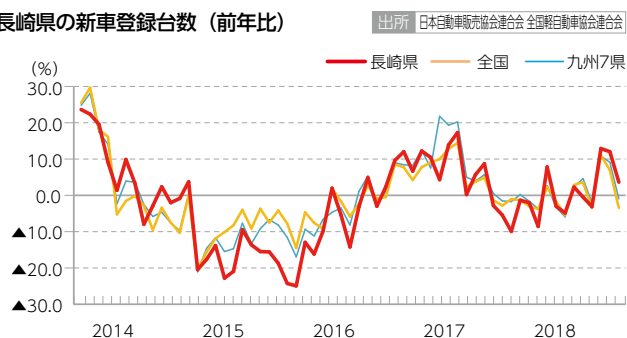
商品別では、「衣料品」が前年同月比9.0%減となりました。

一方、新車登録台数は前年同月比4.0%増の3,145台と、3ヵ月連続で前年を上回っており、コンビニエンスストア販売額も前年同月比2.8%増の約96億円となるなど、個人消費全体としては一部弱さがみられるものの、底堅く推移している状況にあります。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■長崎県の新車登録台数(前年比)





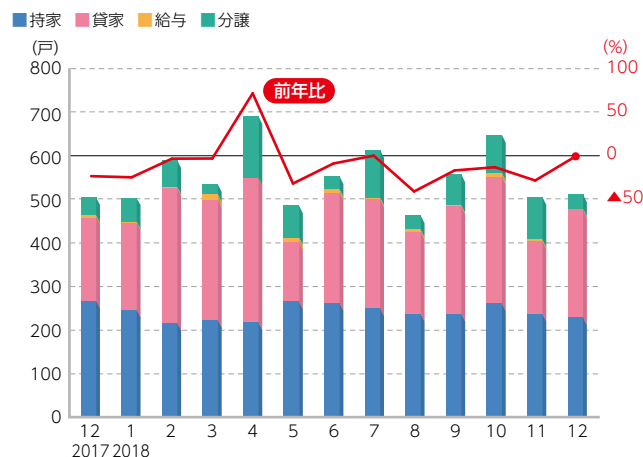
3.住宅建設 | 5ヵ月ぶりに前年を上回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比1.0%増の516戸となりました。

「持家」「給与」「分譲(マンション)」は前年を下回ったものの、「貸家」「分譲(戸建)」が前年を上回り、全体では5ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



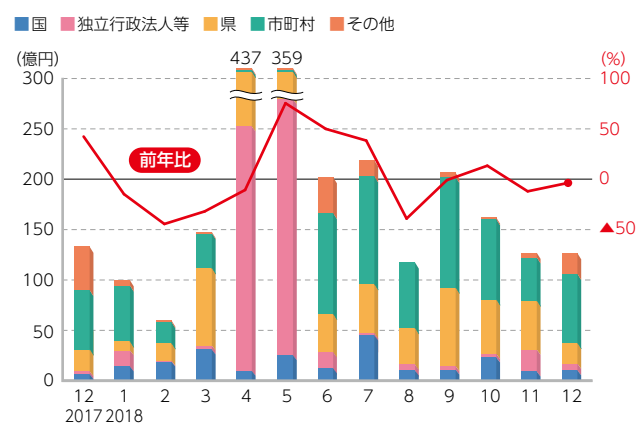
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を下回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比18.2%減の306件、請負額が同4.9%減の約128億円となりました。

発注者別では、駅周辺再開発の大型工事のあった「市町村」等が前年を上回ったものの、「その他公共的団体」等が前年を下回り、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



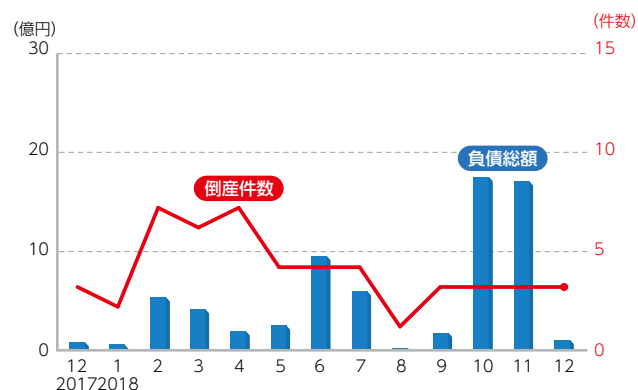
5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比と変わらず3件、負債総額は同28.0%増の約1億円となりました。

負債総額は3ヵ月連続で前年を上回ったものの、倒産件数、負債総額ともに低水準となっています。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 底堅く推移している

佐賀県の景気は、生産活動に持ち直しの動きがみられるほか、個人消費も底堅く推移している等、総じてみると底堅く推移しています。

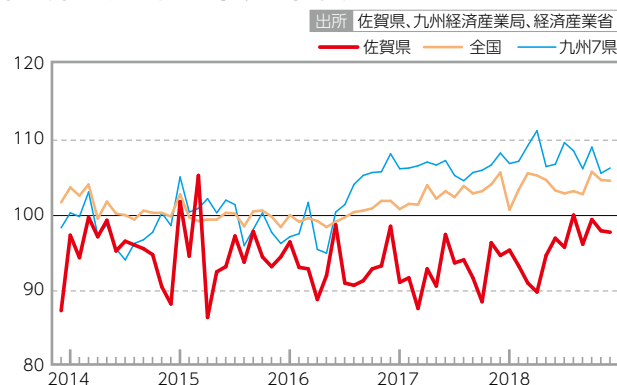
(吉武 直紀)

1.生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は97.8と前月比0.2%低下しました。

主要業種では、「食料品工業」は低下したものの、「化学工業」が上昇する等、生産全体の基調としては、持ち直しの動きがみられる状況にあります。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値、2010年=100、全国・九州は2015年=100)



2.個人消費 | 一部弱さがみられるものの、底堅く推移している

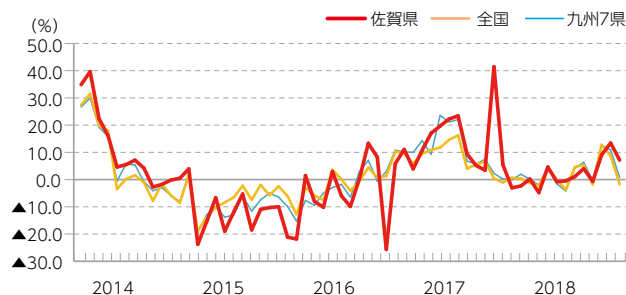
12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比6.0%減の約67億円となりました。

商品別では、主力の「衣料品」が前年同月比8.0%減となりました。

一方、新車登録台数は前年同月比5.8%増の2,249台となったほか、コンビニエンスストア販売額も前年同月比2.9%増の約69億円となるなど、個人消費全体としては、一部弱さがみられるものの、底堅く推移しています。

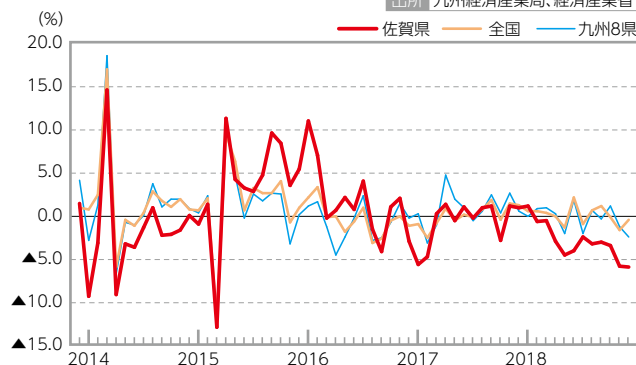
■佐賀県の新車登録台数 (前年比)

出所 日本自動車販売協会連合会 全国軽自動車協会連合会



■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)

出所 九州経済産業局、経済産業省





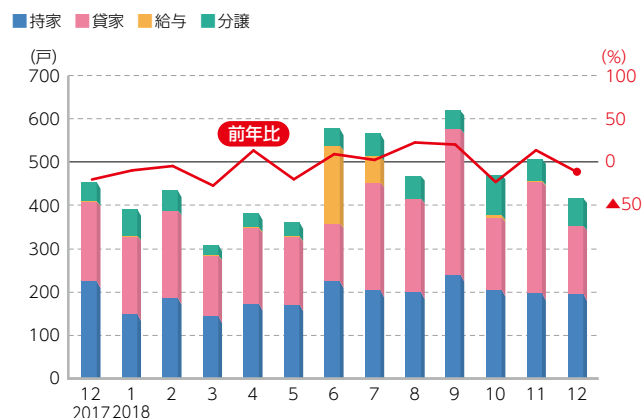
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比8.7%減の421戸となりました。

「分譲(戸建)」は前年を上回ったものの、「持家」「貸家」「給与」が前年を下回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



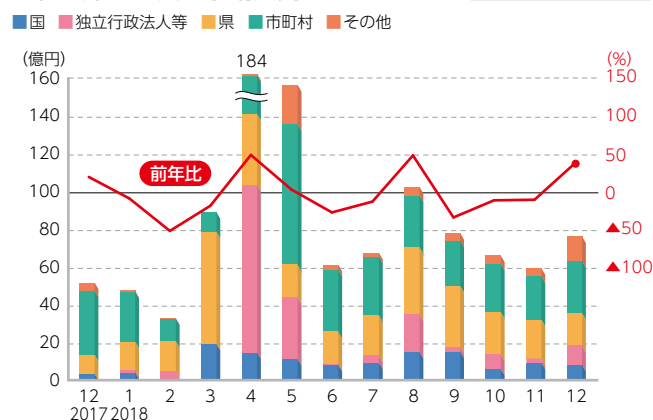
4.公共工事 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比24.0%増の253件、請負額が同46.5%増の約77億円となりました。

発注者別では、工業団地造成工事の大型案件のあった「その他公共的団体」が前年を大きく上回り、全体でも4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



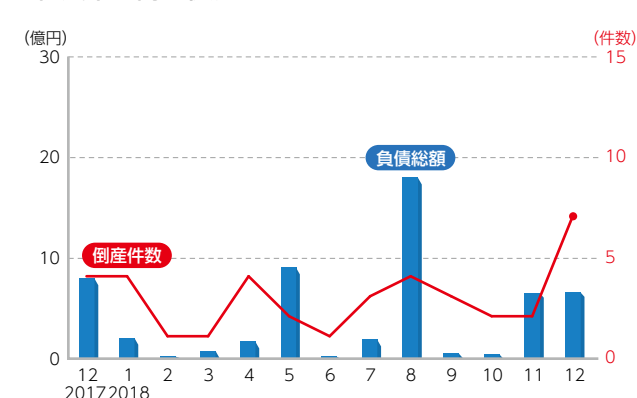
5.企業倒産 | 負債総額は2ヵ月ぶりに前年を下回る

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比75.0%増の7件、負債総額は同18.4%減の約7億円となりました。

「貨物海運業」で約3億円、「貨物自動車運送業」で約2億円の倒産が発生しましたが、負債総額全体としては、2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 底堅く推移している

大分県の景気は、生産活動に持ち直しの動きがみられるほか、個人消費も底堅く推移しており、総じてみると底堅く推移しています。

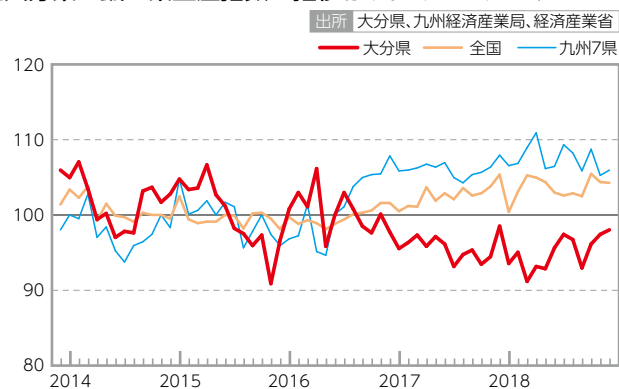
(吉武 直紀)

1. 生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は98.4と前月比0.6%上昇しました。

主要業種では、ビールの生産が減少した「食品工業」が低下したものの、セメントの生産が増加した「窯業・土石製品工業」が上昇し、全体でも3ヵ月連続の上昇となるなど、生産全体としては持ち直しの動きがみられます。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2015年=100)



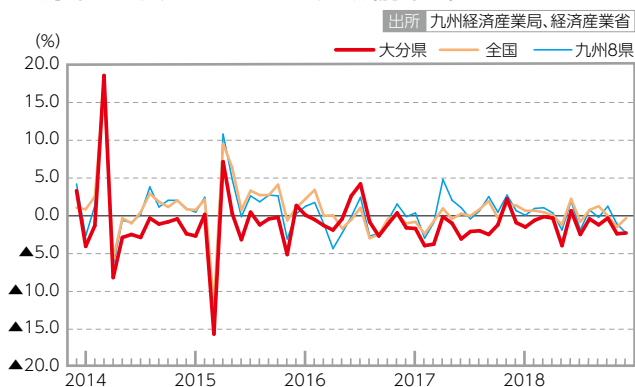
2. 個人消費 | 底堅く推移している

12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.5%減の約121億円となりました。

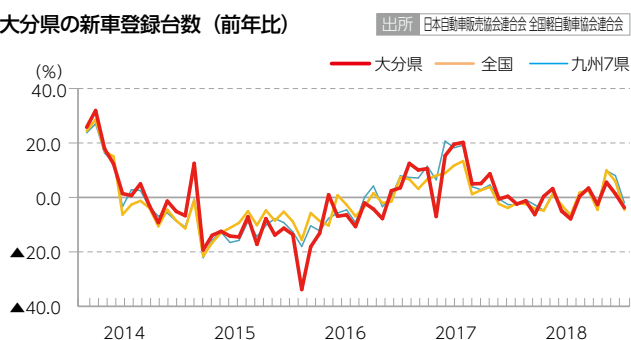
商品別では、「衣料品」は前年同月比0.8%増となりましたが、「飲食料品」が同4.5%減となりました。

また、新車登録台数も、前年同月比2.5%減の3,231台となりましたが、コンビニエンスストア販売額は前年同月比3.7%増の約92億円になるなど、個人消費全体としては底堅く推移しています。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■大分県の新車登録台数(前年比)





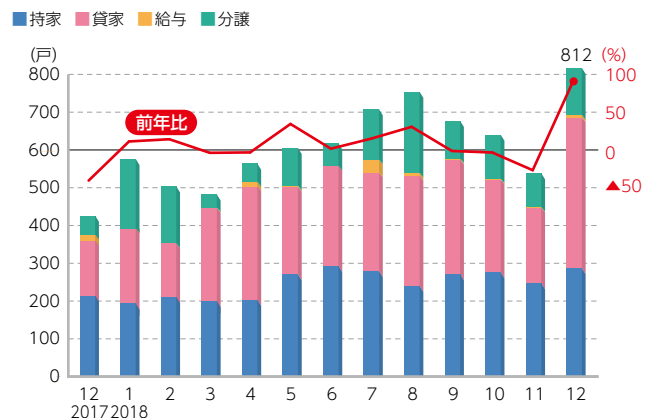
3.住宅建設 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比89.3%増の812戸となりました。

「給与」「分譲(戸建)」は前年を下回ったものの、「持家」「貸家」「分譲(マンション)」が前年を大きく上回り、全体でも4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



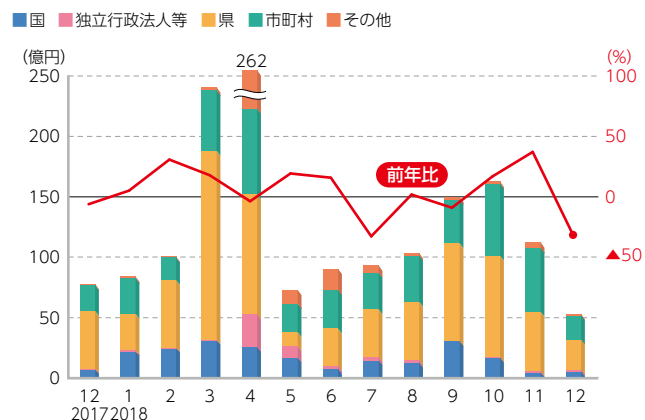
4.公共工事 | 3ヵ月ぶりに前年を下回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比5.3%減の395件、請負額が同32.6%減の約54億円となりました。

全体的に大型案件に乏しく3ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証

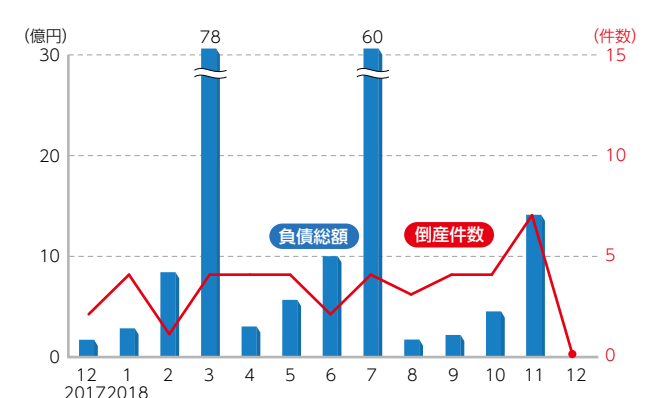


5.企業倒産 | なし

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、0件でした(2017年7月以来)。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 底堅く推移している

宮崎県の景気は、生産活動は横ばい圏内で推移しているほか、個人消費は底堅く推移しており、総じてみると底堅く推移しています。

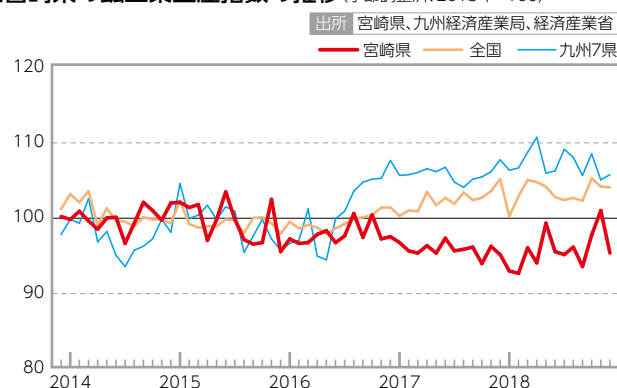
(吉武 直紀)

1.生産活動 | 横ばい圏内で推移

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は95.9と前月比5.6%低下しました。

主要業種では、「電子部品・デバイス工業」は低下したものの、「電気・情報通信機械工業」が上昇する等、生産は横ばい圏内で推移しています。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2015年=100)



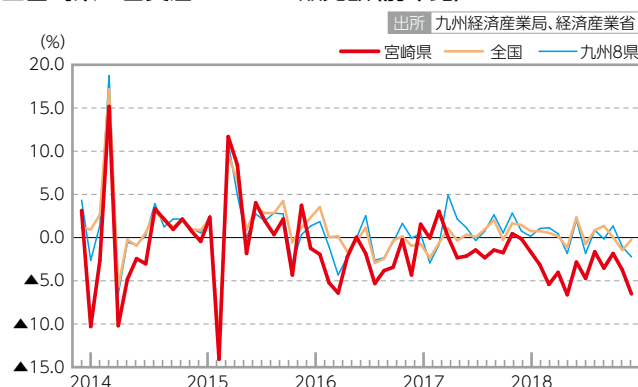
2.個人消費 | 底堅く推移している

12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比6.8%減の約78億円となりました。

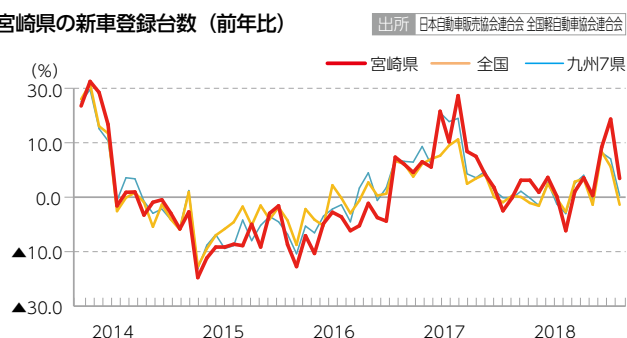
商品別では、主力の「衣料品」が前年同月比10.6%減、「飲食料品」は同7.5%減となりました。

一方、新車登録台数は前年同月比4.1%増の2,914台になったほか、コンビニエンスストア販売額も前年同月比3.9%増の約81億円となるなど、個人消費全体としては底堅く推移しています。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■宮崎県の新車登録台数(前年比)





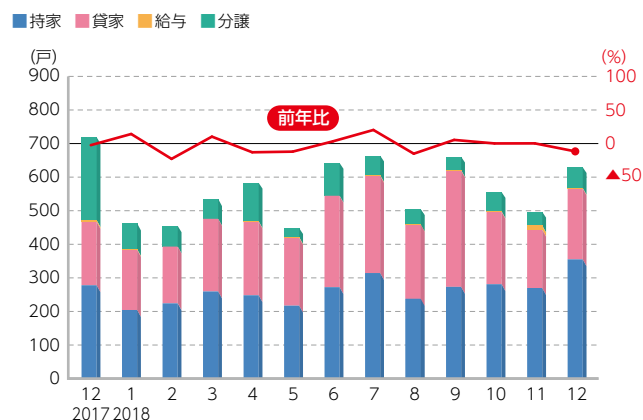
3.住宅建設 | 3ヵ月連続で前年を下回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比13.3%減の634戸となりました。

「持家」「貸家」は前年を上回ったものの、「給与」「分譲（マンション・戸建とも）」が前年を下回り、全体でも3ヵ月連続で前年を下回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



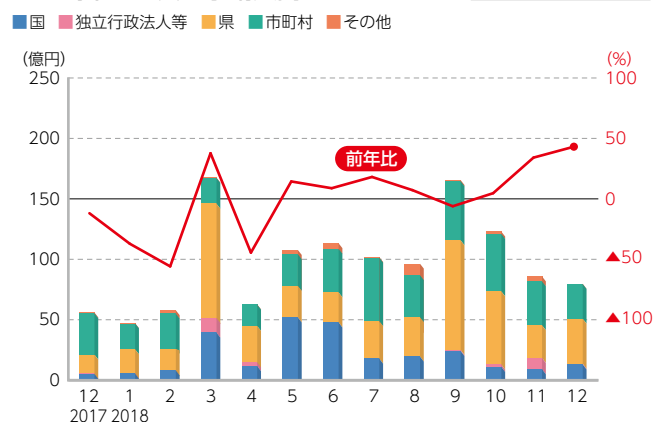
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を上回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比6.2%減の393件、請負額が同42.3%増の約80億円となりました。

発注者別では、トンネル工事の大型案件があった「都道府県」等が前年を大きく上回り、全体でも3ヵ月連続で前年を上回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



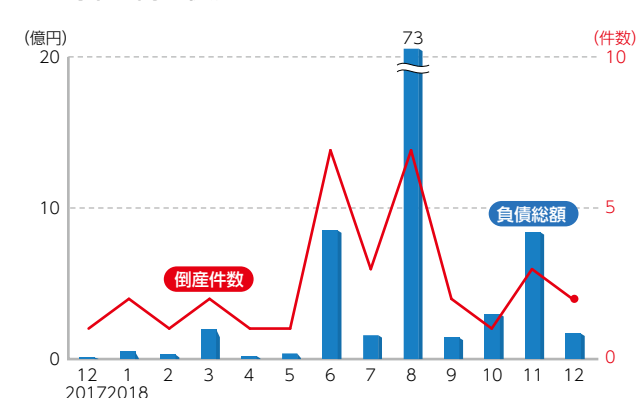
5.企業倒産 | 2ヵ月連続で前年を上回る

12月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比2倍の2件、負債総額は同約10倍の約2億円となりました。

「舗装工事業」で約1億円の倒産が発生するなど、倒産件数、負債総額ともに2ヵ月連続で前年を上回りました。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

鹿児島県の景気は、生産活動は高水準で推移しているほか、個人消費は底堅く推移している等、総じてみると持ち直しの動きが続いています。

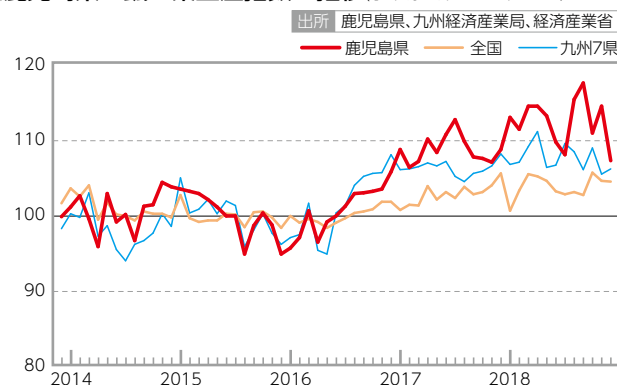
(吉武 直紀)

1. 生産活動 | 高水準で推移している

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は107.5と前月比6.4%低下しました。

業種別の生産動向をみると、「食料品工業」等が低下したものの、「パルプ・紙・紙加工品工業」等は上昇し、生産全体としては、高水準で推移しています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2015年=100)



2. 個人消費 | 底堅く推移している

12月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.3%減の約170億円となりました。

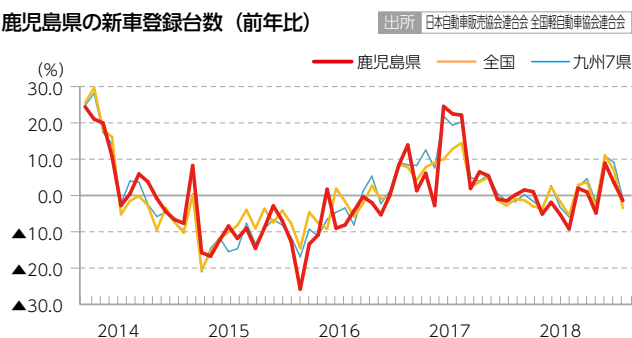
商品別では、主力の「飲食料品」が4.6%減となりました。

また、新車登録台数も前年同月比1.2%減の4,292台となりましたが、どちらも大きくは落ち込んでおらず、個人消費全体としては底堅く推移しています。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■鹿児島県の新車登録台数(前年比)





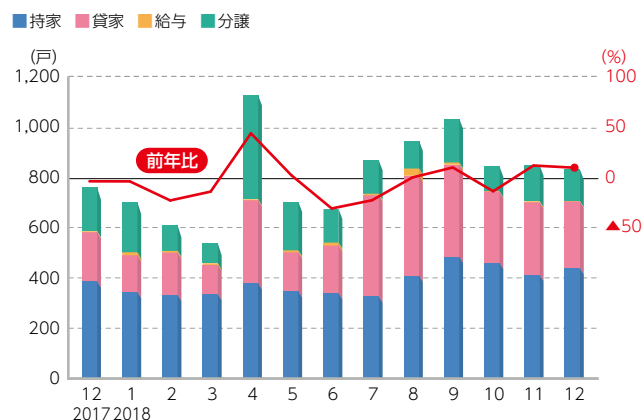
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を上回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比8.4%増の836戸となりました。

「給与」「分譲(マンション)」は前年を下回ったものの、「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を上回り、全体では2ヵ月連続で前年を上回りました。

■鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



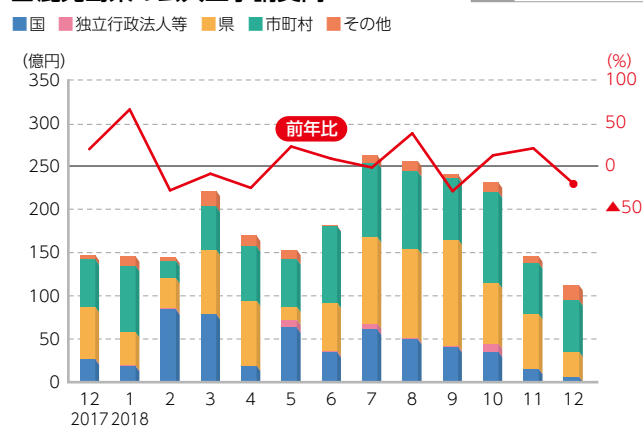
4.公共工事 | 3ヵ月ぶりに前年を下回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比18.3%減の461件、請負額が同23.6%減の約113億円となりました。

発注者別では、国際交流センター新築工事があった「その他公共的団体」は前年を大きく上回りましたが、「国」、「独立行政法人等」、「都道府県」が前年を下回り、全体でも3ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準

12月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月と変わらず3件、負債総額は同43.0%減の約2億円となりました。

負債1億円以上の倒産はなく、倒産件数、負債総額はともに低水準になっています。

■鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

